

日本体育大学 VS 東洋大学

4月20日(土)
11:30K.O.
夢の星

国大を1-0で破り、2連勝を果たした日体大。安定した守備、ダイナミックな攻撃が光っており、今年、注目の1チームなのは間違いない。

ただ、ゴール前まで攻め込んだものの、シュート数が90分で3本と少ないのが気がかり。メリハリをつけながら思いきりのいいシュートも打ち、さらに相手を圧倒していかねばいけないだろう。

一方、守備の安定という面では、昨年に引き続き今年も群を抜いている。それだけに今後、いかにゴールを決めていくかがポイントになっていくはずだ。

昨年のリーグ戦は5位で終了。「あと一歩のところまでインカレ出場(4位以内)を逃してしまっただけに、今年は何としてもインカレ出場(5位以内)を目指してやっている」(倉又勇成監督)

開幕戦で明大を破って注目を浴びた東洋大。昨年の覇者・早大に挑戦した前節は、1-3で敗れてしまった。「前半は意図するサツカーを展開し、先制点を取ることができた。こちらの思惑とおりの戦いだったけど……後半もそこそこやられたとは思わなかった。これが1部と2部の違い。抜く目が無いというか、後半の立ち上がり40秒で失点し、3失点目は取れているCKのカウ

ンターから、2点目にしてロングボールからだった」(古川毅監督)

わずかな差が勝点に絡め返ってくる感しさを、あらためて感じたことだろう。一面たりとも気を抜くことができない戦いが今後も続く一方で、自分たちのサッカーに手応えを感じている。開幕からの2戦に關しては相手がボールを持つ時間が長いだけに、年間を通じて上げていって、後期にはこちらが主導権を握れるように成長させていけば、かなりいいチームになるはずだ。

昨年の対戦：リーグ戦での対戦はなし

日体大		東洋大	
2. 野内	15. 阿部	14. 平石	7. 斎藤
4. 菊地			5. 藤井
10. 堀尾		10. 桑田	
1. 伊藤	9. 田中 11. 北條	11. 黒須	34. 飯島 1. 淺沼
6. 石井		33. 窪田	
5. 中西		4. 藤司	
24. 濱野	7. 橋村	9. 三田	30. 石坂

早稲田大学 VS 筑波大学

4月20日(土)
13:50K.O.
夢の星

開幕戦では順大にアディショナルタイムで失点し、0-1の敗戦となってしまった早大。その影響が心配されたが、前節は攻撃にアグレッシブさが戻り、2-1で順大を下して今シーズン初勝利を挙げた。

「ダイナミックにアクションを起こせし、自らゴールに向かっていくことも開幕戦では欠けていた部分だったので、そこが戻ってきたのはよかった」(高賀健監督)

一方、守備の面ではまだ課題もある。「失点シーンのように、ボールを動かされているときに相手を察知することができず、先手を取られることがあった。守備のペースを固めたい」(古賀監督)

昨年のインカレでの活躍も、守備のペースがあったからこそ。また、今節対戦する筑波大の攻撃力は高い。「どれだけ守備で粘り強く戦って、ボールを奪えるかだ」と思う」(古賀監督)

開幕戦で国士大に敗れ、前節の筑波大戦も1-1のドローと、開幕から2試合結果が出ていない筑波大。ケガ人を抱えている中でリーグ開幕という理由も理由だが、内容的には決して悪くないに勝ちきれないという印象だ。前節の筑波大戦も、「積極的に攻撃を仕掛けていき、相手にとってイヤなと

※本報は前節のメンバーを参考にした予想

ころを攻撃できたし、守備でも体を張って守ってくれた」(松倉浩二コーチ)

しかし、そこで決定的に流れをつかめないうのが今の筑波大の問題点。後半21分に先制点を奪いながら後半は攻められる一方のうえ、40分にセットプレーから失点して勝点2を失った

「距離感が悪く、ボールを動かすこともできなかった」(松倉コーチ)

本来のボール回しをさらに追求していきたいところ。昨年の対戦：前節/早大0-2筑波大、後節/早大2-1筑波大

早大		筑波大	
9. 三平	8. 近藤洋	6. 片岡	
13. 金澤	11. 片山	2. 田代	
18. 小松		3. 谷口	
1. 松澤	9. 赤崎 11. 中野	1. 神谷	
2. 奥山	5. 池西	7. 草本	
3. 塚本		4. 岸	
12. 八角	7. 近藤英	13. 雪山	12. 三丸

国士館大学 VS 順天堂大学

4月20日(土)
11:30K.O.
千葉実戦

日体大に0-1の敗戦を喫した国士大。「手数をかけずにゴール前へボールを運ぶという作戦だったが、ボールの運び方が悪い。せつかくマイボールにしてもすぐにミスしてしまい、相手ボールになってしま」(細田三二監督)

守備の意図はだいたい高くなく、肝心の攻撃のときにもミス連発では細田監督も頭が痛い。ゴール前に早くボールを入れたいという気持ちが、逆に焦りを生む悪循環にはまっている。

「引き出すほうと出し手の判断を修正していかないと、今度も同じようになってしまう」(細田監督)

また、今年の国士大はボールをどこで奪うかに重点を置いている。やや引き気味なプレーだと、奪ってから効果的な攻撃につなげられないだけに、思い切ってディフェンスラインを上げていきたいところだ。

開幕戦で勝利を収めた順大だったが、前節は中々に0-2の完敗を喫してしまっ

「中々の持っている力に対抗できなかった。それぐらいの実力しかなかったということ。90分間、すべてが弱点。いいところがなかった」(吉村英文監督)

相手の攻撃の前に防衛一方となってしまい、手も足も

出ない状況になってしまった。

「4失点しなかったことがよかったが、悪い場面はと吉村監督が自嘲気味に話したように、悪い場面はほかにもあった。中々も決して絶好調だったわけではなく、もう一度、自分たちの原点に立ち戻ってプレイしていきたいところだ。そして、試合ごとの深さをなくしていきたい」(吉村監督)

「とにかく1試合、1試合成長していくことを考えていきたい」(吉村監督)

昨年の対戦：前節/国士大2-1順大、後節/国士大4-0順大

国士大		順大	
6. 橋岸	14. 蓮藤	7. 和田	18. 百永
3. 吉田	16. 平松		4. 谷奥
7. 橋本		22. 長谷川涼	
1. 小野		33. 石山	15. 青木 41. 今川
13. 仲島	9. 坂谷	10. 井村	
20. 松本		13. 宮本	
29. 山田	18. 森	9. 岡野	2. 友澤

明治大学 VS 流通経済大学

4月20日(土)
13:50K.O.
千葉実戦

試合内容自体は開幕戦からよくなり、筑波大らしきには十分に発現していたものの、結果に結びつけられなければズルズルといってしまう。それでも、「あの時間帯に迷いつけるのが、今年のチームの力なのかもしれない。これがペースであれば、相当できると思う。次にできなかつたら困る」

と、中野監督は今年の底力に期待を寄せている。攻守のバランスがうまく取れれば、十分に上位争いをする力はある。

昨年の対戦：前節/明大0-1筑波大、後節/明大5-1筑波大

明大		流通経大	
15. 高橋	8. 和泉	19. 中村	2. 田向
32. 小出	9. 西澤	6. 富田	5. 川崎
10. 矢田		18. 田上	8. 丸本 1. 原田
34. 伊池		10. 黒田 32. 中津川	
3. 山越	11. 野間	5. 小川	28. 矢島
		4. 中美	16. 湯澤